

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

189号



2017年4月20日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 志村坂上での説明会に出て

—国交省主催のオープンハウス型説明会—

“あまり腹を立てると真実が見えなくなる”と言いますが怒りと不安で胸が潰れそうになりました。私は75歳の後期高齢者幼児戦争体験者です。

志村坂上地域センター2階(3月29日(水)14:00~19:00)での説明会、行ったのは午後6時頃だったので男女とも年配者が多く子供連れの主婦など数十名が国交省と都庁の説明員に質問を真剣にぶつけていました。(参加者147人)

3月11日の広報いたばしに“羽田空港機能強化”なるタイトルで出ていましたが、これでは何だか雲をつかむようで良くわかりません。現に近隣住民は殆ど知らないし興味を持っていません。

私も昨年6月6日成増アクトホールでフェーズ2なる説明会で、東京都民の上空を低空飛行で旅客機が2019年より飛行することを初めて知りました。しかも最高1時間に44機、1分半に1機、67デシベルの音は連動では録音されていませんでした。

何でもオリンピックがお題目、でもその後も継続飛行するそうです。12歳からの同級生たちにこの話を説明したところ、“あり得ない、国がそんな無茶する筈はない”と激昂され、国交省のホームページには“羽田空港のこれから”としか掲載されていないのでこの問題は巧妙に隠されているとしか思えません。

私達に出来る事は政府に働きかけ、都民にもっと周知されるように訴えるため、署名運動などを行うことです。あまりの低空飛行で環境破壊・事故・騒音・大気汚染・落下物・地元の地価下落・健康被害等、問題山積のありさまで、経済効果の説明は納得不可能でした！

E・O

○ 図書館移転後の跡地についての 意見交換会

3月22日(水)18:30から中央図書館地下の視聴覚室で意見交換会がありました。

区からはいつものメンバーが説明に当たり、平和公園への新中央図書館がほぼ決まりつつある中で、今の老朽化した図書館を壊した跡に建てるものについて、参加者は思い思いの考えを述べました。これがまたもや只のアリバイ作りに終わらせず、きちんと区民の意向に沿った建物になるよう、注意していかねばなりません。これからが常盤台住民にとって大事な局面になってきます。

やはり小規模でも良いから図書館を、と言う声が多く、折角の公共施設なのだから、文化的なものがほしい、と言う声もありました。地域センターは現在の所で使用している人たちが不便になり、常盤台住民は望んでいないものです。

今回は今までと違い、区側から日にちを設定してきたものでした。今後も2ヶ月に一度ぐらいの意見交換会を希望しておきました。今までの意見に対する回答のようなものはまだ来ていません。

○ 榎倉省吾 作品展

5月11日~16日 於「ギャラリー一服部」

2丁目のKさんは行動美術創立会員の榎倉省吾氏の長女、小豆島のアトリエで晩年を送った亡き榎倉氏の遺作展を催されます。40年近く居住する常盤台に何か寄与できればと企画、画集を自由に持ち帰れるよう準備中とのこと。

向井潤吉の巻頭言を読むと、第二次世界大戦前後に画家を志し、ひたすら真面目に努力した日本人の健気な姿が懐かしく浮かび上がってきます。

ロータリーのヒマラヤ杉の剪定

三月二一日から駅前ロータリーのヒマラヤ杉を主体に、銀杏やヒバの剪定があるというので、景観を守る会・しゃれ街協議会・公園の花づくりの会から数人が業者から内容を聞ききました。常盤台が景観重点地区であることを、区も縦割りではなく認識してほしいと要望しました。

ヒマラヤ杉は常盤台のシンボルの存在であり、常盤台小学校一期生が記念に植えたそうです。高さを若干詰め、枝の混み合った部分を透かし、日光を樹間に入れるということでした。東上線沿線で、これだけの広いロータリーを持つ駅は他にはなく、植栽も大事に整備しておきたいものです。

タヌキもまだ在住？

三月半ば、並木道が切れるあたりで、タヌキらしい動物を見たというKさんの証言？があります。並木の植え込みを散歩途中の犬がしきりに気にしていたので、何がいるのか注目していると、タヌキらしい尻尾のふさふさした動物が出てきたのだそうです。ハクビシンだけでなく、タヌキもまだ常盤台の住人だったようです。

こむらがえりの治し方

夜中にいきなり足がつったりしたことはありませんか？こむらがえりとも言います。揉んだりさすったりしても治らず、七転八倒の苦しみを経験した人もいます。Sさんがそういう時は、直ぐベッドの傍に立てば良い、というので試してみました。足に血が降りると、あっけなく治ってしまいました。転ばぬよう物につかまっ、ぜひお試し下さい。

劣化している指導層の質

文科省が先日発表した提案には驚いた。日本は長崎の出島を通じて外国と貿易していたのだから「鎖国」していたのではない、また「聖徳太子」と言う呼称は後世の命名なのだから「厩戸の皇子」とすべきだ、といったもの。さすがに猛反対が起きたようで、直ぐに撤回にいたったようではとされた。大黒屋光太夫の話や吉田松陰の例でも「鎖国」は厳しく、厳重に行われていたことは周知の事実である。また、後世の命名を避けねばならないというなら、歴代天皇の漢風諡号は、平安時代に付けられたのだから、たとえば天智天皇ならアメミコトヒラカスワケノスメラミコトと言わねばなるまい。

このような誰でも解りそうな誤りが、大きな顔で出てくるというのは、いかに国の指導層に教養がなく、質が劣化しているかを示している。日本の現在の指導層は危うい。都心低空飛行という非常識な案が出たことにも現れている。

宇都宮美術館学芸員の橋本さん

常盤台来訪の予定

栃木県宇都宮市立宇都宮美術館首席学芸員の橋本優子さんが、五月連休あけにときわ台駅を見ながら来訪する予定。大谷石の建築にも詳しく、大谷石造りの南宇都宮駅舎・ときわ台駅舎についても造詣が深い人です。

今回は残念ながら会場や日にちの打ち合わせができませんでしたが、いつか両駅の駅舎について講演を依頼したいと思います。

常盤台公園のはなづくり

公園北側の植え込みが荒らされている状況はますますひどくなり、ユリの芽も踏みつけられて駄目になり、楽しみにしていたアジユガも跡形もなくなっていました。

公園内の掲示板には、危険なボール遊び、自転車乗り入れ、動物の連れ込み、などが禁止となっています。

昔は野原があちこちにあって、子供たちが遊び回る場所に事欠きませんでした。そういう環境で育った私たちには、スマホでゲームに夢中になっているより、広々とした場所で駆け回ったり、木の間を探検したり隠れん坊をしたりしている姿の方が好ましく見えるし、その楽しさも解るので悩んでしまいます。

子供たちが嬉々として遊び、楽しげに自転車乗り回しているのを注意することとはなかなかできません。しかし、若いお母さんたちはおしゃべりに夢中で、制止する気配はありません。このままだと公園の植え込みが荒れ果ててしまうのは目に見えています。最低限、守るべきルールを作らねばならない時が来ているのかも知れません。

先日の水曜日の午後、ついに堪忍袋の緒が切れて、子供たちにお説教してしまいました。素直に聞いていましたがどうなりますやら・・・